【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成27年11月19日(2015.11.19)

【公開番号】特開2014-145320(P2014-145320A)
【公開日】平成26年8月14日(2014.8.14)
【年通号数】公開・登録公報2014-043
【出願番号】特願2013-14924(P2013-14924)
【国際特許分類】
*Ｆ０２Ｂ　39/00　(2006.01)*
*Ｆ０２Ｂ　39/14　(2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ　17/02　(2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ　17/04　(2006.01)*
*Ｆ１６Ｃ　17/08　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｆ０２Ｂ　39/00　Ｊ
Ｆ０２Ｂ　39/14　Ｂ
Ｆ１６Ｃ　17/02　Ｚ
Ｆ１６Ｃ　17/04　Ｚ
Ｆ１６Ｃ　17/08

【手続補正書】
【提出日】平成27年10月5日(2015.10.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンプレッサ側のハウジングからタービン側のハウジングに亘って配置されたコンプレッサとタービンとを連結するシャフトの両端面のうち少なくとも一方を、回転可能に支持するターボチャージャ用軸受であって、
前記ハウジング内に固定される外周部と、
前記シャフトの端面を回転可能に支持する摺動部と、
前記外周部と前記摺動部とを連結し、当該摺動部を支持する連結部と、
を具備することを特徴とする、
ターボチャージャ用軸受。
【請求項２】
前記連結部は、
互いに間隔をおいて配置される複数の棒状部によって形成されることを特徴とする、
請求項１に記載のターボチャージャ用軸受。
【請求項３】
前記連結部の断面形状は、
ターボチャージャ内を流通する空気の流通方向の長さが、当該流通方向に直交する方向の長さよりも長くなるように形成されることを特徴とする、
請求項２に記載のターボチャージャ用軸受。
【請求項４】
前記連結部の断面形状は、
流線型になるように形成されることを特徴とする、

請求項２又は請求項３に記載のターボチャージャ用軸受。
【請求項５】
前記外周部は、
前記ハウジングの内側面に沿う環状に形成されることを特徴とする、
請求項１から請求項４までのいずれか一項に記載のターボチャージャ用軸受。
【請求項６】
請求項１から請求項５までのいずれか一項に記載のターボチャージャ用軸受を具備することを特徴とする、
ターボチャージャ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
即ち、請求項１においては、コンプレッサ側のハウジングからタービン側のハウジングに亘って配置されたコンプレッサとタービンとを連結するシャフトの両端面のうち少なくとも一方を、回転可能に支持するターボチャージャ用軸受であって、前記ハウジング内に固定される外周部と、前記シャフトの端面を回転可能に支持する摺動部と、前記外周部と前記摺動部とを連結し、当該摺動部を支持する連結部と、を具備するものである。